



International Day of Happiness：授業アイデア (簡単版)

国際幸福デーをテーマにした英語の授業アイデア 2本

Class _____ No. _____ Name _____

1. クラスの幸せのはしご調査

中学・25分

🎯 On a scale of 0 to 10, ~? の質問と because の理由づけを使って、英語でインタビューをする。

1. 世界幸福度報告の「はしごの質問」を英語で紹介する。
2. ペアで How happy are you today, on a scale of 0 to 10? Why? とインタビューし合う（数字だけ答えたくない人はパスしてよい）。
3. クラスで「幸せの理由」に多かった言葉（friends / family / food など）を英語で集計する。
4. 結果を The most popular reason was ~. の文で発表する。

2. GDPか、幸せか：国の成績表をつくろう

高校・40分

🎯 数字で表せる豊かさと幸福のちがいを考え、英語で意見を述べる。

1. ブータンの国民総幸福量と、世界幸福度報告の6つの要素を英文で読む。
2. グループで「自分たちの町の幸せを測るなら、どんな項目を入れるか」を5つ選ぶ。
3. We chose ~ because ~. の形で発表し、ほかのグループの項目とくらべる。
4. ブータンへの批判にもふれ、数字で幸せを測ることの長所と短所を書く。



1. クラスの幸せのはしご調査

授業手順書（詳細版）／対象：中学／25分

Class _____

No. _____

Name _____

ねらい

On a scale of 0 to 10, how happy are you today? Why? とたずね、I'm a ~ because ~. で答えるインタビューを英語で行い、クラスで多かった理由を The most popular reason was ~. の文で発表できる。

準備

- 0～10の段を書いた大きなはしごの絵（黒板にはる）
- インタビューシート（相手の名前・数字・理由を5人分書く欄。数字は空欄でもよい）
- 英語ページの会話（カイトとアイノ）の音声
- 理由を書く付せん（1人2枚）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	4	はしごの絵を黒板にはり、0がいちばんひどい生活、10がいちばん理想的な生活であることを英語で示す。これは世界幸福度報告で使われている本物の質問で、毎年140をこえる国の人々が答え、結果は3月20日の国際幸福デーに発表されることを伝える。	はしごの絵を見て、質問のしくみを知る。	"Look at this ladder. It has 11 steps, from 0 to 10." "10 is the best life. 0 is the worst life." "Every year, people in more than 140 countries answer this question."
展開1	4	会話の音声を聞かせ、アイノの Maybe an eight. とカイトの I'm a seven. を取り出して、数字の答え方を確認する。because で理由を続ける練習を全員でする。数字を言いたくない人は Pass. と言い、理由だけ答えてよいことを最初に約束する。	会話を聞き、答え方と理由の言い方を練習する。	"Listen to Kaito and Aino." "Aino says, 'Maybe an eight.' Kaito says, 'I'm a seven.'" "You can say, 'Pass,' and just give a reason."
展開2	8	教室を歩いて5人にインタビューさせる。On a scale of 0 to 10, how happy are you today? Why? と聞き、相手の答えをシートに書かせる。答えた人には Thank you. や That's nice. と一言返すよう指示する。	5人にインタビューし、数字と理由をシートに書く。	"Stand up and talk to five friends." "Ask, 'On a scale of 0 to 10, how happy are you today? Why?'" "Write their reasons on your sheet."
展開3	6	自分の幸せの理由を英語1語（friends / family / food など）で付せんに書かせ、黒板にはらせる。同じ語ごとにまとめ、全員で数える。数字の集計はしない。	理由を付せんに書いてはり、クラスで数える。	"Write your reason on a sticky note. One word is OK." "Put it on the board." "Let's count. How many people wrote 'friends'?"
まとめ	3	集計を見て The most popular reason was ~. の文を何人かに言わせる。本文の最後の段落にある「友だちに何が幸せかを聞き、その人のためにやさしいことをする」という呼びかけを紹介して終える。	結果を英語の文で発表する。	"What was the most popular reason?" "Say, 'The most popular reason was ...'" "Ask a friend what makes them happy. Then do something kind."

板書例

International Day of Happiness (March 20) 😊

0 (the worst life) ~ 10 (the best life)

A : On a scale of 0 to 10, how happy are you today? Why?

B : I'm a ____ because ____.

(数字は Pass してもよい)

Reasons : friends / family / food / ...

The most popular reason was ____.

評価のポイント

- 質問を英語で言い、相手の答えを聞き取ってシートに書けたか。
- because を使って理由を言えたか。
- 集計の結果を The most popular reason was ~. で発表できたか。

つまづきへの手だて

- 理由が言えない生徒には、friends / family / food / sports / music / sleep の絵カードから選ばせる。
- 数字を言いたくない生徒は、理由だけ答えればよいことにする。聞いた数字は全体の前で発表させない。
- 質問が長くて言えない生徒には、How happy are you today? だけでよいことにする。

発展

- Discussion の問い What three things make you happy? Why? にペアで答える。
- 基本セット p.3 の穴埋め Nana's Happy List を読み、ナナの3つの幸せを確かめる。
- 基本セット p.6 の迷路 Help Nana climb to the top of the happiness ladder! に取り組み、ひみつの語 SMILE を見つける。

使う教材

- 英語ページの会話と音声
- 基本セット p.3 (穴埋め Nana's Happy List)
- 基本セット p.6 (迷路)



2. GDPか、幸せか：国の成績表をつくろう

授業手順書（詳細版）／対象：高校／40分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

ブータンの国民総幸福量と世界幸福度報告の6つの要素を読み取り、自分たちの町の幸せを測る項目を5つ選んで We chose ~ because ~. で説明し、数字で幸せを測ることの長所と短所を英語で書ける。

準備

- 英語ページ本文 Which Step Are You On? の第3・第4段落（印刷・人数分）と音声
- 6つの要素の英語リスト（先生が記事から作る：GDP per person / someone to count on in hard times / years of healthy life / freedom to make life choices / generosity / feeling that there is little corruption）
- 記事の国別くらべ表（世界幸福度報告2026：フィンランド・アイスランド・デンマーク・コスタリカ・日本）
- 「町の成績表」ワークシート（項目5つ・選んだ理由・測り方の欄）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	6	第3段落を聞かせ、1972年にブータンの国王が「国民総幸福量はGDPより大切」と言ったことを確認する。次に国別くらべ表を見せ、日本は2025年の55位（6.147点）から2026年は61位（6.130点）になったが、点数の差は0.017点だけだったことに気づかせる。	本文と表を読み、順位と点数の関係を考える。	"In 1972, the king of Bhutan said happiness was more important than the size of the economy." "Look at Japan. Its score was almost the same, but its rank went down." "Why do you think that happened?"
展開1	8	6つの要素の英語リストを読ませ、報告はこれらで点数の差を説明しているが、点数そのものは0～10のはしごの質問から出ることを確認する。自分にとって大切な要素を3つ選ばせ、ペアで理由を言い合わせる。	6つの要素を読み、自分にとって大切な3つを選んで理由を言う。	"The report looks at six things." "They explain the scores. They do not make the scores." "Which three are most important to you? Tell your partner why."
展開2	10	グループで「自分たちの町の幸せを測るなら」という成績表をつくらせる。項目を5つ選び、それぞれの測り方（アンケートの質問か数字）も書かせる。ブータンの調査が心の健康・時間の使い方・地域のつながり・自然・暮らしの水準などの分野を調べていることを、ヒントとして紹介する。	町の幸せを測る項目を5つ選び、理由と測り方を書く。	"Make a report card for our town." "Choose five things to measure." "How will you measure each one? Think of a question or a number."
展開3	8	1グループ1分で、We chose ~ because ~. の形で成績表を発表させる。聞いているグループには、自分たちと同じ項目とちがう項目をメモさせる。	成績表を発表し、ほかのグループの項目とくらべる。	"Each group has one minute." "Say, 'We chose ... because ...'." "Which items are the same as yours? Which are different?"
まとめ	8	ブータン自身は2019年の報告で156か国中95位だったこと、1990年代にネパールの住民10万人以上（当時の人口の約6分の1）が国を追われ、「幸せの宣伝で人権問題をかくしている」という批判もあることを伝える。そのうえで、数字で幸せを測ることの長所と短所を、One good point is ~. One problem is ~. の形で1つずつ書かせて提出させる。	ブータンへの批判を知り、長所と短所を英語で書く。	"Bhutan was number 95 out of 156 countries in 2019." "Some people also say Bhutan has a human rights problem." "Write one good point and one problem about measuring happiness with numbers."

板書例

GDP or Happiness?

1972 Bhutan : Gross National Happiness (GNH) > GDP
2012 UN : March 20 = International Day of Happiness

World Happiness Report 2026

1 Finland 7.764 / 2 Iceland 7.540 / 3 Denmark 7.539 / 4 Costa Rica 7.439
Japan : 61 (6.130) ← 2025 : 55 (6.147)

6 factors (explain the scores)

GDP per person / support / healthy life / freedom / generosity / little corruption

We chose ____ because ____.

One good point is _____. One problem is _____.

評価のポイント

- 6つの要素は点数の差を説明するもので、点数そのものはしごの質問から出ることの説明できたか。
- 選んだ5項目について、理由と測り方を We chose ~ because ~. で説明できたか。
- ブータンへの批判もふまえ、数字で幸せを測る長所と短所を1つずつ書けたか。

つまずきへの手だて

- 6つの要素の英語がわからない生徒には、日本語訳つきのリストを渡す。
- 項目が出ないグループには、ブータンの調査の分野（心の健康・時間の使い方・地域のつながり・自然・暮らしの水準）から選ばせる。
- 長所・短所が書けない生徒には、It is easy to compare ~. / A number cannot show ~. の書き出しを渡す。

発展

- Discussionの問い Japan was number 61 in 2026. Do you think this ranking shows how happy Japanese people really are? について意見を書く。
- アクティビティ集 B5（国比べ）で、フィンランド・アイスランド・デンマーク・コスタリカと日本をくらべ、I want to visit ____ on International Day of Happiness because _____. を書く。
- 2位アイスランドと3位デンマークの差が0.001点だったことから、順位だけでくらべることの問題を考える。

使う教材

- 英語ページ本文（第3・第4段落）と音声
- 記事の国別くらべ表（世界幸福度報告2026）
- アクティビティ集 B5（国比べ）